

## 第5回 全員協議会会議録

令和6年11月28日(木)  
委員会議室

### ○会議日程

- 1 開会宣言(13時41分)
- 2 協議事項
  - (1) 原子力機構報告会について
  - (2) 令和6年度 一般会計議会関係補正予算について
- 4 閉会宣言(14時28分)

### ○出席議員(7名)

議長	8番	西澤裕之
副議長	7番	齋賀弘孝
議員	2番	佐藤忠志
議員	3番	深澤博幸
議員	4番	高橋秀之
議員	5番	植村敦
議員	6番	無量谷隆
議員	1番	高橋秀明

### ○欠席議員(1名)

### ○議会事務局出席者

事務局長	岡田英樹
書記係長	藤田秀紀

西澤議長

それでは、ただいまより、第5回全員協議会を開会いたします。

協議事項に入っていますが、原子力機構の報告会についてということで、原子力機構の報告会に行ってきました。

例年どおりといいますか、まずは、表敬訪問、東京の事務所の方に行ってきました。

対応をいただいた方といましては、理事の永里良彦理事、総務部長である橋本達夫氏、そして、今回からバックエンドの上級研究主席になられた笹尾氏、もと笹尾氏の役職にいた瀬尾氏に対応をいただきました。

報告会の当日の感想としては、去年よりもかなり難しい話で、理解はできなかつたっていうか難しい話でした。

深澤議員が昨年感じたこれからの技術としては、今年度もやはり、廃棄物から新しい金属を取り入れるとか、そういうようなお話もあって、可能性を感じる報告会であったなというふうには思っています。

では次、副議長から、行った人の感想をお願いします。

齋賀副議長

私は、実は、この報告会を初めて行きました。

初めて行ったんですけども、昔、動力炉核燃料開発事業団の時に、間寒別地区で、大変、雪まつりとか行事があったんで、そのときに、その当時の若い職員の人が間寒に来て、いろいろお手伝いいただいた、その若い人に、また、こういう形で会えて、向こうは、もう名前も顔も覚えてる人もいるけど、覚えてない者もいるんだけど、向こうは、きちんと名前も顔も覚えていてくれて、向こうから挨拶に来てくれて、大変うれしかったなというふうに思っています。

理事の皆さんとの懇談会の席でも、一人一人、許される時間は短い時間だったんですけども、出席した皆さん一人一人の意見を真摯に聞いていただいて、いろいろ受け答えもしていただいて、大変勉強になったし、感激した意見交換会、そして、3日間という日程でした。

どうもありがとうございました。

高橋秀之議員

西澤議長さんも言ったとおり、去年、いい話で、若い人の話で、私たちの身近な話で聞きやすかったっていう話だったんですけど、今年は、昔みたく難しい話に戻って、私も何回か行っているんですけど、戻ってしまって、いい話はしてんだけど、中身があんまり分かんないなって感じで、ちょっと残念でした。

本当は、去年みたく、優しい話を聞きたくて行ったんですけど、ただ一つ頭に残ったのは、がん治療の話をしていたんですよね、新しい。直接、がんに打ち込んでいくっていう、何かそれが何年か後に実用化になれば、がんの病気も普通の病気みたくなるのかなっていうのを感じて、早く研究を進めてほしいなって、それだけが頭に残っていて、いい話を聞いたなって、希望が持てる話だったというのが頭に残ってます。

### 佐藤議員

初めて原子力関係の公の場に参加させてもらって、まあ最初は、皆さんのがっつ付いて歩いて、どこ行くだか訳も分からんで付いて行って、いきなり、機構の理事長さんのところにお邪魔させていただいて、皆さんの意見を黙って聞いたら、最後、お前も最後挨拶せんきやなんねいからってことで、ちょっと、戸惑ったところもあったんですが、いずれにしても、その、機構の理事長さん、また、関係の部長さんからの皆さんと名刺交換させていただいて、残念ながら、私は今まで、こういう公の場に出たことはないもんですから、後の先輩議員の皆さんは、昔から、幌延に来た、いた人だと、高橋委員からもあったように、顔見知りで、おうおうなんてやってたけど、私は、もう見る人、聞く人、皆、初めてで、ちょっと、やっぱりこう戸惑ったところもあったんですが、いずれにしても、最初は何でこんなところに俺らが行かなきゃなんないんだなんて発言しておったんですけど、大変こう、あういうところに、やっぱり、たまに議員が皆さんも顔出して、顔つなぎして、いろんな、我々のその、この機構があるおかげで幌延にどれだけの恩恵被ってるのか。それと、やはり500メートルも掘って、あと、どうするんだと私自身も不安なところもあって、そこまで突っ込んだ話はできなかったんですが、大変、有意義な、今なってみると何だなんて言われるかもしないけど、行ってよかったなと思っております。

また、今、最後の講演についてはね、高橋先輩議員も言ったように、がん治療の最先端の今の治療をやっているということで、5年後には脳腫瘍が、その人の手の届かんまで、どこまでそういう原子力ものを、そういうものを使ってやれると、それと、土からエネルギーを取れるんだと、これを、その栃木県一体、あの辺の所の1年間の電力を貰えるだけの電力も、今、可能なんだとか、本当に、こう、最初こんなのが聞いて、3時間も眠ってなきゃなんないかなと思ったんだけど、本当にこう、俺らでも、こんなところまで研究進んでるんだなと思って、本当に、あつという間のこの、最初は大阪大学の教授のそういう今のがんセンターのがん治療の最先端の技術、ここまで来てるんだよっていうものも、本当に、もう少ししたら、がんで死ななくてもいいのかなと思ったりして、聞いて、本当にこう、連れてもらってよかったなと思って、この次から余計なこと言わないで、素直に付いて、勉強せんきやなと思っておりました。本当にありがたかったです。

### 西澤議長

先ほど、休憩中、深澤議員からもありましたけれども、それぞれ各議員が意見を述べてというところ、副町長もいて、副町長も述べて、やはり決められた年限、时限のある研究であるけれども、やっぱり必要な研究はすべきではないかっていう意見に対しては、理事の方からも、今の状況で精いっぱい研究をまず進めてっていうところと、おっしゃってることは分かるので頑張りますというようなところの発言があったということでございます。

報告としては以上ですが、何か。

### 無量谷議員

大変、これで2年間続いて、皆さんの成果が、すごく原子力機構にも伝わったんでないかなと、幌延の誘致する気持ちとして伝わったんじゃないかなという気はするんですけども、来年以降もこの機会を機に続けてほしいなという感じはします。そして、かつ、幌延

町の誘致している町村でありますんで、今後、幌延の幹部職員の課長連中も賛同して行ってもらった方が幌延の勉強のためにもなるのかなという感じします。

そういうためにも、少しこの報告会ちゅうか、理事者との間の時間をもう少し長く取れるような時間体制で協議していったらいいんかなっていう、来年以降の考えなんですけども、そんな感じ持ってますんで、一応、大成功だったんだなって思いました。

西澤議長

ほかにございますか。

深澤議員

無量谷議員のは大変すばらしい意見なんんですけど、今の状況だと議会が何か一人歩きしての状況なんだよね。

僕もまだ議員になってから2年しか経ってないけど、町長の姿がどこにも見えてこないんだよな。

パフォーマンスでもいいから、一緒に分析したり、意見交換をするっていう機会も、無量谷議員の意見に付随して、付け加えてほしいなと思います。

西澤議長

ありがとうございます。

実は、前までは町長と一緒に、町長と議長が行くような形でやっていました。

全国の首長会と管内の首長の研修がその後あって、ここ数年、日程調整ができなくて、副町長が行っている状況になっています。状況としては、そういう状況です。ただ、深澤議員がおっしゃるように、町長がっていう話は、それはあるのかなと思いますが、状況としては、今、状況はそういうことです。

余談といいますか、自民党の政調会が実は毎年行われていて、今回、町が要望する事項としては、幌延深地層計画の推進についてということで、町が武部副大臣とか三好さんとか総合振興とかに要望するということで、町もこうやって動いてますということで、町としての要望事項として、こういうものを上げるということですんで、一応、こういう動きがあれば、必ず、議員の皆さんにも報告して、情報漏れのないように努力していきます。

無量谷議員の話は無量谷議員の話として、議員からこういう要望があったよということは事務局を通して執行機関の方には流してくださいという話をしました。

岡田事務局長

三役会議のときに無量谷委員からもそういう話が出て、無量谷さんの意見として担当課と副町長にはお伝えしますということで、お二人には、副町長にもお話ししまして、交付金を余すぐらいだったら、課長にも行ってもらった方がいいんだっていうような回答してましたので、次に、予算特別委員会のときにでも、改めて無量谷さんの方から各課長も定期的に行くべきだっていうような発言をしていただくと、来年以降、反映がされるんじゃないかなっていう気もしています。

深澤議員

無量谷委員には悪いんだけど、無量谷委員の意見だったとしたら、一人でしょう。やつ

ぱり議会としてっていう話を無量谷君に代弁してもらうならいいけど、無量谷君一人の意見だっていったら、ちょっと、弱いような気がするな。

西澤議長

三役会議のときは、一応、私はそこまでの自信がなかったので、それは、無量谷議員の一人の意見としては局長伝えてって言ったんですけども、議会としてって話であれば、皆さんの御意見を聞いて、議会としても。その辺どうですか。

深澤議員

同調しない人は、手を上げる。

手を上げれないから同調すると。

西澤議長

どうですか。意見があれば、お願ひします。

一応、無量谷議員の話としては、伝えておりますけど。

深澤議員

議決じゃないんだから、議員の総意でいいんじゃない。

植村議員

無量谷さんの意見に反対しません。

西澤議長

はい、分かりました。

ということで、全員協議会の意見としては、そういう意見もあったということで伝えていただいて、無量谷議員個人ではなくて。

では、報告会については、この辺でよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

(2) の令和6年度一般会計の補正についてお願ひします。

岡田事務局長

12月補正で、議会運営の補正予算を提出しております。

中身につきましては、今年度の人事院勧告に関するもので、手当とボーナスです。

ボーナスが、今、4. 5か月分が、6月、12月、それぞれ0. 05ずつ上がって、0. 1か月分増額になるということで、12月補正で16万3千円計上しています。

こちらについては、まだ、閣議決定が、明日される予定ではいるんですけども、12月議会で議案として上がってくるかどうかというのは、まだ不明なんですけれども、もし12月定例で上がってこなくても、1月に臨時議会等で上がってくる可能性がありますので、今回、12月でも1月でも、どちらでも対応できるようにということで、12月補正で上げております。

それともう一つ、交際費1万5千円増額してるんですけども、こちらにつきましては、今年度、慶弔費の支出が多かったものですから、今現在、1万5千円不足するということで、今回12月補正で、補正予算全額対応させていただいています。

交際費については流用ができないということで、予備費から充用するしか方法がないもんですから、ちょっと、12月補正でも間に合うということで、今回、12月補正で上げ

させていただきました。補正については、説明、以上となります。

西澤議長

これに関しては何かございますか。

佐藤議員

交際費っていうのは、議長の交際費。

西澤議長

はい、議長の交際費になります。

佐藤議員

年間のなんばになるの。

西澤議長

補正前にあるように、6万円が、はい。

佐藤議員

これって、間に合うかい、間に合わんのかい。

西澤議長

足りません。

佐藤議員

足りないんでしょ。

だから、もう少し上げるべきじゃないのかい、これ、10万ぐらい。

(「駄目だ」の声あり)

西澤議長

駄目だという意見もあるので、まだ我慢しますが。

佐藤議員

いや、駄目だって、いちいち、出たら補正するんだよ。

まさか、個人で酒飲んでるもんでもあるまいし、もう少し、俺は上げるべきだと思うよ、  
こういう交際費ってのは。

余ったら余ったでいいわけだし、ただ、気遣って金もないのに、あちこち肩身の狭い思  
いして歩くんだったら、大盤振る舞いする必要もないんだけど、ある程度は、まさか、こ  
れ100万にせって言ってるもんでもない。慶弔費出たって言うけど、ほかも見たら、余  
りそんなの情けないって交際費もどうなのかなと思うんだけどさ。それを検討するあれが  
あるんじゃないかなと思うよ。

西澤議長

はい、ありがとうございます。

佐藤議員

誰が検討するんだ、これしたら。検討しますって言って。

西澤議長

議員の皆さんで検討していただかないと。

佐藤議員

まさか、ここで決めるわけにはいかないだろうけど。

深澤議員

本会議で質問するなって、言いたいんだ。

佐藤議員

分かりました。

深澤議員

自分たちのことだべや、これ。

言いたいことあったら、ここで言え。だから。

植村議員

交際費の問題は、私、議長時代から言っております。というのは、行政財政改革という名の下でも、議会だけじゃなくて町長の交際費もそのとおりなんです。それで、右倣えで、今までずっと来てるというのが実態なんです。

ただ、町長もそのとおり、議長もそのとおり、やっぱり、議長名で出てって、自分で払わなきゃなんないものあるんです。それが、ちゃんと認めるようにしましょうということで、これやっぱり議会だけじゃなくて、町の方も連動して、ちゃんとやらないと駄目ですよ。元に戻っていかないのかなという。やっぱり全般的に考えて

深澤議員

上げてやるってやればいいんだ、あんた。

西澤議長

言ってくれと、付隨してこっちも上がっていく。

植村議員

それ以前はね、ちゃんと、交際費つちゅうの、行革する前は認められていたんです。

佐藤議員

認められていたって、どういう意味。

西澤議長

行財政改革のときに、例えば、会議があつて懇親会付いてるとかあるじゃないですか。それは、自分で飲み食いするものだから自分で払いなさいってなっちゃったんです。公務で行つても、その懇親会を自費で出しなさいっていう話なつてしまつたんです。

行財政改革で予算厳しいんだから、削るとこは削りましょうといったときの、削る一つがこれだったっていうお話でございます。なので、植村議員がおっしゃったように、議長だけじゃなくて、やっぱり、町長がそうなつてるので、町長自体、あと委員会の方も。なので、全体的に変わんないと。

植村議員

全体的つちゅう町民もそうなんです。

成人式だとか敬老会あたりでも昔は飲み食いして、どんちゃんやってたんだけども。

西澤議長

それもカットですね。

植村議員

なくなつたしょ。

西澤議長

ただ、今回この議長の交際費に関しては、見える形で補正予算で上げました。

深澤議員

それはしやあない。

西澤議長

はい、という思いで、見える形で上げましたので、これを、下がどう取るかということだと思います。

植村議員

他町の町長の交際費なんったら、200万、300万だよ。

西澤議長

豊富50万。

ほか、これに関しては、よろしいですか。

(「はい、わかりました。」の声あり)

はい。そういうことでございます。

全員協議会を閉じてから、やりたい案件が1件ありますので、この全員協議会に関して、その他で何かあります。

高橋秀之議員

11月25日に、道北地方森林・林業・林産業活用化促進議員連盟連絡会の総会に行ってまいりました。

議案は、全部、出されたもので承認。

会費については、道北連絡会には納めないで、全道連絡会の会費だけ、多分、1万円くると思います。

役員は、そのまま、全員留任ということで。

連絡協議会の結成状況っていうのは、道北で東川町だけが入ってなかつたです。

8月7日現在も入ってないんですけど、そのあとの説明で、東川も入って、東北は全部入ったという報告を受けました。以上です。

西澤議長

はい、ありがとうございます。

質問よろしいですか。

(「はい」の声あり)

ほかにございますか。

(「なし」の声あり)

それでは、第5回全員協議会を閉じたいと思います。

(14時28分 閉会)

以上、相違ないことを証するため署名する。

議長 西澤裕之

書記係長 藤田秀紀